



2019年6月1日

継承センターのご家族の皆さまへ

ワシントン日本語継承センター(継承センター)理事会では毎年、当組織の現状、運営、今後の計画についてご報告しております。2018-19年度は、113名の子供たちと、大人向けプログラムに10名の保護者生徒が在籍しました。ゼネラルマネージャーと教師陣(今年度はカリキュラムコーディネーター1名、教師9名、ティーチングアシスタント6名、音楽ディレクター1名で構成)が、8クラスおよび大人向けプログラムを提供しました。さらに、財務担当1名、ウェブマスター1名、入学事務アシスタント1名を雇用しています。

継承センターの在籍生徒数は年々増加しているため、クラス当たりの生徒数を10~15人に抑え、教師:生徒数の比を1:7に維持するよう、人員拡充に留意しております。2019-20年度は、ホームルームクラスを1つ増やして人数増加に対応する予定です。継承言語を学ぶ子供たちには、小人数のクラスで、個別のサポートを提供するのが効果的です。

ホームルームクラスで構成された子供たちのクラスは、生徒の全般的な日本語スキルを高め、日本と日本文化の知識と経験を深めるよう、教師・アシスタント陣が指導しています。低学年クラスの生徒は授業時間を通して同じ教室で授業を受け、中・高学年クラスはターゲットクラスに振り分けられてそれぞれのスキルと語彙強化に重点を置いた授業を受けています。今年度は「自然現象」というテーマのプロジェクトを通じて、生徒たちの日本語スキル強化をはかりました。

継承ファミリーおよび卒業生を対象とした大人向け日本語プログラムの提供は、今年で4年目となりました。このクラスは、ご家族全体で日本語と日本文化の学習に関わっていただくことにより、継承言語教育という継承センターの役割を補完するものです。継承センターでは引き続き、日本語を学びたいと考えるすべての保護者の方々に提供できるよう、大人向けプログラムを拡充していきたいと考えております。

運動会や、ホリデーコンサート & ポットラック、餅つき、さくらまつりのコンサートには、多くのご家族の方々においでいただきました。たくさんの卒業生もこれらのイベントに参加してくれていることは、この上ない喜びです。これらのアクティビティや毎年恒例のイベントは、計画と準備に多大な労力がかかります。教師陣と保護者ボランティアの皆様の多大な時間と労力によって、これらが実現しています。毎回感謝をお伝えする努力はしておりますが、ここであらためて、スタッフとボランティアの皆さまに深く感謝申し上げます。継承センターがこのように素晴らしい場となっているのは、ひとえに皆さまのご尽力のたまものです。来たる6月8日の終業式・学芸会・ポットラックに、皆さまのお越しをお待ちしています。

今年、生徒会がさくらまつりテント運営などの活動を通じて資金調達を達成したことを、特に誇らしく思います。継承センターのテントには何百人もの人々が訪れ、DCエリアの日本人・日系人コミュニティに広く継承センター



の名前を知らしめるのに役立ちました。継承センターチームは今年もジュニア・ジャパン・ボウルに参加し、小学校レベル 2 の部門で第 1 位となったのをはじめ、各レベルで入賞を果たしました。これらの対外的活動を通じて、継承センターは、日本大使館、ワシントン DC 日米協会、Japanese American Citizens League、さくら幼稚園などの外部団体とも強いつながりを築いています。

継承センターの教師陣および理事会は、日本語継承語教育の指導スキル強化をはかる機会を常に求め続けています。2018-19 年度は、Community-Based Heritage Language Schools Conference (アメリカン大学で開催)、J.LIVE Talk (ジョージワシントン大学で開催)、Maryland Teachers of Japanese の年次ミーティング、International Conference on Japanese Language Education (イタリア・ベニスで開催) の 4 つの学会において、継承センターの代表者が参加や発表を行いました。

2004 年の設立時に 3 クラス・生徒数 35 人であった継承センターは、今や 8 クラス、生徒数 110 人超にまで成長しました。この間、継承センターでは、支出の増大に対し、教育の質を落とすことのないよう注意を払いながらコストダウンを心がけて参りました。高い質の教育とバラエティ豊かなプログラムを今後も提供していくために、来年度の授業料基本額は 2.35% 増、月額で生徒ひとり当たり約 \$2.50 増とさせていただきます。きょうだい割引と一括払い割引、および大人向け日本語プログラム受講者のインセンティブは、引き続き適用されます。下記に、2018-19 年度の継承センターの運営予算実績をまとめております。

継承センターはコミュニティのニーズにお応えするために設立されました。当理事会では、入学が許可されたすべての家庭が、入学できるようにしたいと考えています。経済的な懸念が入学の障害となることは望んでいません。当センターができる範囲で、必要のあるご家庭には学費援助をご利用いただけるようにしています。原則として、適用には連邦の貧困基準ガイドラインの 3 倍の収入額を目安としていますが、ケースバイケースで酌量していません。学費援助に関する詳細は、理事や財務担当者、ゼネラルマネージャーに遠慮なくお尋ねください。

継承センターコミュニティは 15 年間にわたって、当センターを立ち上げ育ててきた人々のビジョンと労力により支えられてきました。椿谷茂、森エジソン、マイケル・エアマートの 3 名の継承センター理事は、この 6 月で任期を終了します。これらの方々には先見の明を持ち、継承センターのような場、すなわち、継承日本語の学習者が日本を愛する気持ちを保ち、多言語・多文化の継承を自ら見出すことができるような場の必要性を、早くから見出して見出していました。継承ファミリーが日本語・日本文化との絆を保てるよう、長年にわたってたゆまぬ貢献をしてくださったこれらの方々に、深い感謝の念を捧げたいと思います。皆さんの叡智と経験は、私たちにとって大きな存在でした。

当理事会は、ドナルド・ハリソン氏、ケン・ナイト氏、宮島智美氏の 3 名の理事を新たに迎えます。3 名とも、今月から任期が始まります。理事会への参加をご快諾いただき、感謝申し上げます。



**Washington Japanese Heritage Center (Keisho Center)**

ワシントン日本語継承センター

P.O. Box 142 Cabin John, MD 20818

keisho.org • facebook.com/keishocenter • info@keisho.org

継承センターはこれからも成長し続け、変化し続けます。けれども、生徒たちが日本語と日本文化を生涯にわたって大切にできるよう育む、という継承センターの使命は変わりません。継承センター理事一同、継承センターの業績と発展を誇りに思います。これからもコミュニティに貢献し、生徒とそのご家族の皆さんと協力し合い、今後も向上と発展を続けていくのを楽しみにしています。ご質問やご意見、ご提案などは、ぜひご遠慮なくお寄せください。

今後ともよろしく願いいたします。

継承センター理事

バンツ 阿紀子

マーク・ヒツツイク

ジョン・トベ

マイケル・エアマート

森 エジソン

椿谷 茂

浜野 祥子

デボラ・サウリ

吉川 恵夫